



# A1 倶楽部

2021 新春号

【発行所】

さとう栄一  
後援会総連合会

〒321-0954

栃木県宇都宮市元今泉5-1-22

TEL.028-662-3300

FAX.028-662-5501

住めば  
愉快だ  
宇都宮

UTSUNOMIYA

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、私たちの生活や地域経済に甚大な影響を及ぼし、本市でもさまざまな対策や支援に取り組んでまいりました。また、そのような状況の中、宇都宮市長選挙では皆様に絶大なご支援・ご協力をいただき当選をすることができました、心から厚く御礼申し上げます。

本年も引き続き市民の健康と生活を守るため、新型コロナウイルス感染症については、感染拡大防止に万全を期すとともに社会経済活動との両立を目指します。まずは感染症対策の要となるワクチン接種を速やかに受けられる体制の整備や事業者・個人への支援の充実、また令和元年東日本台風の浸水被害を踏まえ、被害の軽減に向けた田んぼダムの普及拡大などに最優先で取り組んでまいります。

JR宇都宮駅東口ではLRT整備や宇都宮駅東口地区整備事業を着実に進めた結果、これまで31年間、馬場通り2丁目の大通りが路線価県内最高額を維持していましたが、宮みらいのJR宇都宮駅東口駅前ロータリーに入れ替わるなど、これからの発展の期待の表れとなりました。一方でJR宇都宮駅西口でもペDESTリアンデッキ南側に位置する「宇都宮駅西口南地区」の市街地再開発準備組合が、地下1階・地上20階建ての複合ビルの建設を計画しており、2024年度の完成を目指しています。更には駅西側へのLRT延伸計画の中で上河原付近まで高架とする構想案が発表され、JR宇都宮駅周辺の再開発の動きに注目が集まります。

本年から利用が開始になる新・交通系ICカード（totra）はJR東日本のSuicaの乗車・電子マネー機能に加え、バスや今後開業予定のLRTの運賃支払い、定期券機能などを備えています。今後は市内どこまで行っても片道500円以下の上限運賃制度の導入を目指します。また、4月からは子ども医療費の助成を高校3年生まで拡大いたします。

本年もまだまだ我慢の年になりますが、この危機を乗り越え、うつのみやの未来を切り開いてまいります。

宇都宮市長 佐藤栄一

# 新型コロナウイルス感染症に対する佐藤栄一市長の決意



1月6日に緊急記者会見で新型コロナウイルス感染症による2度目の緊急事態宣言を宇都宮市独自で発出いたしました。市民の皆様には不安な思いをされていることと思いますが、みんなで協力し合い『チーム宇都宮』で乗り越えてまいりましょう。新型コロナウイルス感染症の拡大防止や社会・経済活動との両立に向け、全身全霊で取り組んでまいります。まだ苦しい状況ではありますが、何とかここを乗り越えて必ずや宇都宮の元気を取り戻してまいります。

令和2年度 コロナ関連 総額 710億円

## これまでの新型コロナウイルス感染症対策

- 県内最初にドライブスルー方式によるPCR検査を実施
  - 高齢者等へのPCR検査等費用の助成 ※宇都宮市独自
    - 65歳以上の方（昭和31年4月1日までに生まれた方）
    - 64歳以下の基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満（BMI30以上））を有する方
  - ビジネスPCR等検査支援事業 ※宇都宮市独自
 

市内事業者（個人事業主を含む）を対象に、経済活動のために従業員などに受けさせる場合のPCR等検査の費用を補助

※1回あたりPCR検査：最大5,000円、抗原定量検査：最大2,500円（注意：1事業者1年度50万円を限度）
  - 『宮の食バトクチケット』（プレミアム率最大50%）で地域の飲食店を支援 ※宇都宮市独自
  - 国の「持続化給付金」対象外の法人に最大50万円、個人に最大25万円を給付 ※宇都宮市独自
  - 中小企業等へ1年度あたり最大3,000万円貸付制度、当初3年間実質無利子 ※宇都宮市独自
  - うつのみや17・18（いいな・いいわ）応援給付金 ※宇都宮市独自
 

国の「子育て世帯への臨時特別給付金」では、児童手当を受給している家庭に子ども1人につき1万円が給付されているが、17、18歳の子どもは対象外のため
  - ひとり親世帯臨時特別給付金
 

1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円の加算

ひとり親世帯に対し、新型コロナウイルス感染症の影響により子育て負担の増加や収入の減少などが生じていることを踏まえ、臨時特別給付金を支給
  - うつのみや赤ちゃん応援特別給付金 ※宇都宮市独自
 

国の「特別定額給付金」（1人10万円）の基準日の翌日（令和2年4月28日）から令和3年4月1日までに生まれた子ども1人につき10万円を支給
  - 新型コロナウイルスワクチンの円滑かつ迅速な接種が受けられる体制づくり。市医師会・市歯科医師会・市薬剤師会・県看護協会と連携し、市新型コロナウイルスワクチン接種実施本部の設置
- ※さまざまな支援策がありますので、宇都宮市のホームページでご確認ください。



※緊急事態宣言中のオリオン通り

## これからの新型コロナウイルス感染症対策

- PCR検査1日あたり1,200件を上回る検査が可能な体制づくり
- 集団感染リスクが高い施設における即日の調査・検査体制の確保
- 感染症に係る情報や支援制度の情報発信
- 新型コロナウイルス感染症対策特別資金〈借換型〉の創設

## 佐藤市長が進める宇都宮のまちづくり

JR宇都宮駅西口地区の市街地再開発事業で駅前のペDESTリアンデッキ南側に位置する宇都宮駅西口南地区の事業概要が発表された。地下1階、地上20階建ての高さ約80mの複合ビル、24年度の完成を目指す。駅西側へのLRTの延伸や駅前広場の整備を見据え、一体的な整備を意図。これから駅西口の再開発も加速することに期待が持てる。



### 宇都宮駅西口南地区再開発へ

## 佐藤栄一市長の公約、早くも実現へ！

### 子育て・教育の未来都市

本年4月から高校3年生までの医療費を無料化へ

昨年の市長選挙での公約の一つ、『高校3年生まで医療費を無料化へ』のとおり、本年4月から子ども医療費助成を高校3年生まで拡大することになった。

### 小中学校体育館に空調設置へ

令和3年7月には、市内25校すべての中学校の体育館に空調を設置するとともに、令和4年度には、69校すべての小学校の体育館にも空調を設置する予定。また、すべての児童・生徒や担任を対象とする合計約4万3千台のICT端末の導入は令和3年3月から。



### 安全・安心の未来都市

待ったなしの雨水対策  
田んぼダムで約23・3万トン

宇都宮市は大雨の際に雨水を一時的に貯める「田んぼダム」の実施協力に關して、うつのみや中央土地改良区と協定を締結した。田んぼダム実施に向けて土地改良区の協力農業者は100名で約23・3万トンになり、想定を上回る協力が得られた。今後も田んぼダムの普及促進のために農業者に理解が得られるよう丁寧な説明を継続していく。佐藤市長は「災害・水害はいつ起きてもおかしくないという心構えで、長いスパンで対応していかなければならない」と力を込めて話した。



### 交通の未来都市

全国初の地域連携ICカード  
『totra』の販売・利用、3月21日から

地域連携ICカード『totra』の販売・利用が3月21日から始まる。Suicaの機能に加え、ポイントサービスやお得な割引制度など地域独自のサービスが受けられる。4月から高齢者の外出支援として70歳以上の市民に年間1万円分、精神障がい者交通費助成事業として最大1万2千円分のポイントを交付。さらに、来年の夏頃から市内のバス利用1乗車あたり500円以下となる『上限運賃制度』の導入を目指す。



### 県内路線価最高額は駅東口

県内約4900地点ある路線価(1㎡当たり)の最高額が宇都宮市馬場通り2丁目(28万円)から宮みらいのJR宇都宮駅東口駅前ロータリー(29万円)に入れ替わった。宇



隈研吾建築都市設計事務所作成

都宮駅東口地区整備事業とLRT整備により、県都の新たな玄関口と注目されていたが、県内路線価最高額となつて示された。

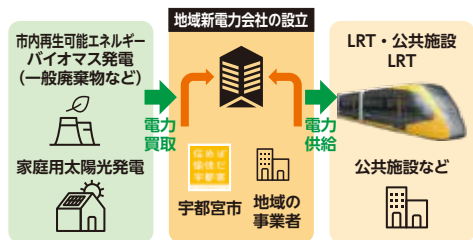
### オリスクが全天候型に

オリオンスクエアは14年前に市民の憩いの広場として整備された。スポーツやジャズ、カクテルなど四季折々のイベントが年間約260回ほど開催されてきた。これまではステージを中心に3分の1程度に屋根が架かっていたが、降雨や猛暑日でもイベントができるよう全面屋根にリニューアルされた。



### 電力の地産地消へ新会社設立

宇都宮市は、再生可能エネルギーの地産地消を推進する「地域新電力会社」を4月を目途に設立する。ごみ焼却施設(クリーンパーク茂原)や一般家庭の太陽光発電による再生可能エネルギーを買い取る。LRTの電力はすべて、これらの再生可能エネルギーでまかなうほか、市有施設などにも供給する。



宇都宮市は、再生可能エネルギーの地産地消を推進する「地域新電力会社」を4月を目途に設立する。ごみ焼却施設(クリーンパーク茂原)や一般家庭の太陽光発電による再生可能エネルギーを買い取る。LRTの電力はすべて、これらの再生可能エネルギーでまかなうほか、市有施設などにも供給する。

## ご支援ありがとうございました



### コロナ禍の選挙戦

この度の宇都宮市長選挙におきまして、コロナ禍の中、皆様にはご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。

前回の結果を踏まえ、早々に出馬を表明し準備をしっかりとしようとしていたところ、新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延し、市民の生命を守るため感染拡大防止に万全を期すとともに地域経済を守ることが最優先となりました。その結果、出馬表明が遅れ、短期決戦となりました。

事務所では感染防止対策を徹底し、入口にはデジタル検温器と消毒、各テーブルには飛沫防止パネルを設置し窓を開けて換気するなど、スタッフは人一倍気を付けてまいりました。

これまでのように決起集会や会合を開くことができず、支援の輪の広がりも分からず、手探り状態でした。しかし、日に日にスタッフが増え、前回以上にスタッフが集まり連日連夜、当選のためにさまざまな運動と戦術を展開してまいりました。本当にたくさんの方々のご協力をいただき、このコロナ禍の選挙戦を戦い抜くことができました。ご支援をいただきました、すべての方々に心から厚く御礼申し上げます。

お世話になりました。



### 11月18日に初登庁

佐藤市長は当選から3日後の18日に初登庁した。選挙戦の疲れも癒えぬまま、予断を許さない新型コロナウイルス感染症対策などの公務に取りかかる。就任式では「これからも意見をよく聞き、独善的にならないよう市政に取り組む。『チーム宇都宮』として一丸となり、夢をかなえよう」と話した。



### 選挙戦の最終日

11月14日、選挙戦の最終日には街頭演説を市内11カ所で実施した。福田とみかず知事と合同で数カ所開催し、最後の訴えをした。どの街頭演説会も100名以上の聴衆が集まり、大変な盛り上がりを見せ、佐藤市長も最後の演説に力を込めて宇都宮市の未来を語った。



### 選挙事務所の開所式

11月8日、早朝にさとう栄一選挙事務所の開所式を執り行った。3密を避けるために選対の幹部と遊説隊のみ、いよいよ選挙戦に突入する。泣いても笑っても一週間、必勝に向けて佐藤栄一の戦いが始まる。中津会長から檄が飛び、士気が高まるスタッフは元氣いっぱい事務所を出た。